

本市における医療施設の現況は、病床数の人口対比において、各病床類別とも厚生省基準を下まわっている（43.12.31現在）。また、他の大都市に比しても下位にある（42.12.31現在）。しかし、人口の増加率と比べると病床の増加率は、全国的に減少の傾向にある結核病床を除き、いずれも人口増加指数をうまわっており、不足病床の充足率は年々向上している。

一方、本市の人口増は各行政区ごとに差異があるが、病床数、診療所数とも既成市街地の中心にある中区がもっとも充実している。病床については、交通機関の発達した本市の現状においては、地域的な利用格差は少ないものと考えられるが、診療所については、近年、都市化現象が著しい周辺の行政区において、いずれも全市平均以下になっている。しかし、全体として医療施設の中で、自治体等公的施設の出る割合は少なく、しかも専門化、特殊化が要求されているため、医療機関整備にあたっては、民間施設が主体とならざるを得ない現行の医療体制の中では、医療需要の早急な充足、医療機関の適正配置の確立には極めて困難なものと予測される。なお、医療機関整備の重大なネックポイントのひとつに医師及び看護婦等の慢性的な不足があり、特に看護婦の不足はその教育制度そのものについて、抜本的な改革を迫るほど深刻化している現状である。

施設一覧 — List of Facilities

Table with 5 columns: 施設別, 病床類別, 施設数, 人口一万対, 人口一万対厚生省基準. Rows include 病院 (General, Tuberculosis, Mental, Infectious, Emergency, Total) and 診療所 (General, Emergency, Total).

④ — 施設数は43.12.31現在
人口は44.1.1現在推計
厚生省基準は44.1.1

7大都市病床数比較表（人口一万対）
Number of Beds in 7 Large Cities
— Comparison Table

Table comparing 7 large cities (横浜, 名古屋, 京都, 大阪, 神戸, 北九州, 東京) across categories: 一般, 結核, 精神, 伝染病, 合計, 診療所.

43.12.31現在

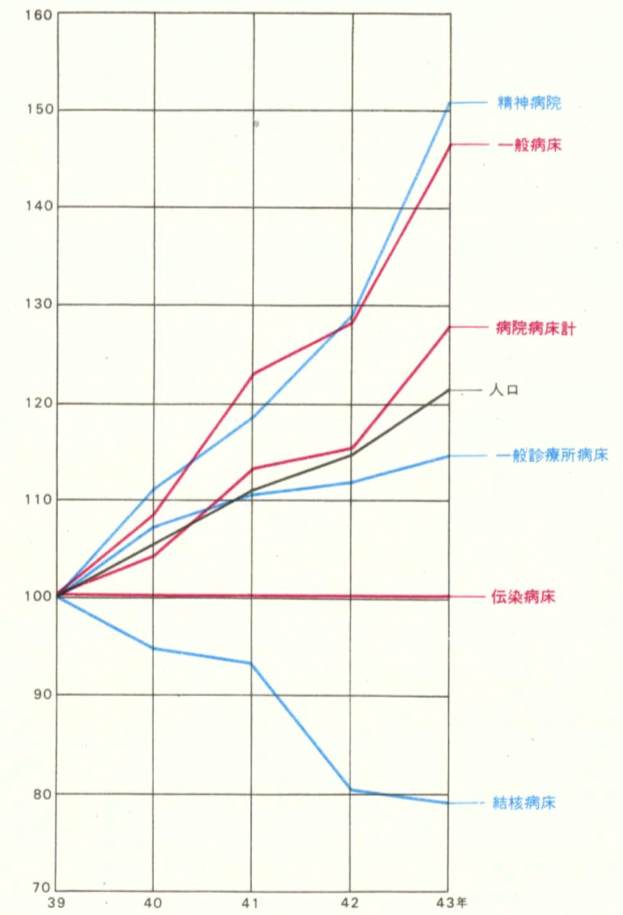
行政区別表 — Facilities in All Wards

Table with 5 columns: 行政区別, 一般病床, 人口一万対, 診療所数, 人口一万対率. Lists various wards like 鶴見, 神奈川, 西, etc.

病院一般病床の推移
Transition Table of General Beds in Hospitals

Table with 5 columns: 年次, 一般病床, 必要(基準)病床, 不足病床, 充足率(%). Shows data from 38 to 43.

人口一万対病床数の推移
Number of Beds per 10 Thousand Population



- 一般病院 General Hospitals
- 救急病院 Emergency Hospitals
- 特殊（結核・精神・伝染病科）病院 Special Hospitals (Tuberculosis, Mental, Infectious)
- 一般診療所 General Medical Offices
- ▲ 救急診療所 Emergency Medical Offices
- △ 保健所、保健所支所 Health Centers, The Branches
- 保健所管轄区域 Jurisdiction of Health Centers

病院及び診療所
患者20人以上の収容施設を有するものを病院。20人以下の収容施設を有するもの又は収容施設を有しないものを診療所という（医療法第1条）
必要病床数の人口一万対率厚生省基準
厚生省告示に規定されているもので、本市に適用される基準は昭和45年12月31日までは次のとおりである — 一般病床58、精神病床20、結核病床23。
● ④ — 「医療施設調査」 ④統計法指定65号 昭和43年12月31日作成横浜市衛生局総務課 ● 解説と資料 — 同課

